

2026年3月11日

岡山県水泳連盟 各加盟団体 様

NPO 法人 岡山県水泳連盟
競技委員長 杉本 和弘

World Aquatics の規則一部改定に伴う国内競技会での運用について

春暖の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、本連盟の競技事業に対し、多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、World Aquatics（世界水泳連盟）より 2026 年 2 月 18 日付で、競技会規定（Competition Regulations）の改正が公表されました。これに伴い競技規則の一部が改訂され、世界大会においては即日施行された旨、日本水泳連盟より通知がございました。

つきましては、国内における運用について下記の通りご連絡いたします。特に以下 3 点の規則変更については、**3 月 19 日より開催される日本選手権、および 4 月以降の本連盟主催競技会より適用**となります。

ご確認のほど、よろしくお願い申し上げます。

1 自由形

ゴール直前、頭の一部が 5 m のマークを過ぎれば、ゴールタッチ時に体が完全に水没してもよい。

2 バタフライ

ゴール直前、頭の一部が 5 m のマークを過ぎれば、ゴールタッチ時に体が完全に水没してもよい。

※ 1、2 共に背泳ぎ 6.3 と同じです。

3 400m、800m、1500m の個人自由形競技では、スタート側の折返監察員は、スタート側の最終折り返し 5 m 前に泳者が達したときから、折り返し後 5 m に達するまで、注意を喚起する合図を振鈴によって行う。

※ 400m 自由形が加わりました。水中ラップカウンター、周回板の運用も 800m 自由形、1500m 自由形の運用に準じます。